

病院長 様
有床診療所長 様

上田保健福祉事務所長
(上田保健所長)

新型コロナウイルス感染症の感染防止対策の再徹底について (依頼)

日頃新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための取組につきまして、特段の御配慮をいただき誠にありがとうございます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、収束が見えない状況であり、発生者数の増減が繰り返されています。“いわゆる”「第三波」におきましては、当上田保健所管内においても 200 人を超える感染者の発生があり、一旦は件数の減少はあったものの、ほぼ途切れることがないまま、3 月中旬以降再び感染者の増加・発生が続いています。

また、「第一波」から「第二波」、「第二波」から「第三波」と、後発ほどより大きな「波」となっており、想定を上回るような発生者数も生じています。

当該状況の中、医療機関の皆様には、日々の医療を担う一方で、細心の注意を払って感染対策をしていただいておりますこと大変感謝申し上げます。

感染者の増加に伴ってリスクはより身近なものとなり、医療関係者にあっても例外ではなく、家族との接触、日常生活の場面等において「感染リスク」が高まっています。

発生時に当所で実施した感染拡大防止等のための積極的疫学調査、感染状況の調査等の中で、「医療関係職員における感染事例」も確認できました。

つきましては情報提供させていただきますので、貴院の職員の皆様に対し、感染リスクを減らすため、下記事項を参考に「感染防止のための行動」を再度呼びかけていただきますようお願い申し上げます。

記

1 感染事例等について

(1) 家族の県をまたいでの移動による発生

進学、仕事の関係で、県外で生活していた家族が帰省、その後当該家族が陽性者となりました。

(2) 家族からの感染、濃厚接触

同居の家族が、職場、友人との会食、学校生活等の中で感染者となりました。

(3) 親戚等との交流

普段は会わない親戚等が、正月等の機会に長時間、交流・会食し、その中に後に陽性者となる者がいました（接触時は無症状）。

(4) 症状がある中での出勤

風邪症状や、若干の体調不調を認識しながら出勤した、及び勤務時間中に体調不調が生じたが、そのまま勤務を続け、その後陽性が確認されました。

(5) 休憩室利用のリスク

感染可能性のある期間内に出勤していた本人（後日陽性確認）が、休憩室において、マスクを外して食事やお茶を飲みながら会話、数人が同時に使用し近い距離で過ごす、室内が狭い、換気が不十分な中で接触していた事例がありました。

2 感染防止策など

(1) 家庭内における対策

- 家族の皆さんも、職場や、学校などで社会生活を送る中で、常に感染リスクがあります。家庭内にあっても、お互いに「感染しているかも知れない」と考え、感染対策をお願いします。
- 特に、県をまたいでの移動があった者、「感染リスクが高まる『5つの場面』」にいた者とは、2週間は接触を最小限にするとともに、当該者の体調管理にも注意しましょう。

【参考】

- ・「家庭内でご注意いただきたいこと～8つのポイント～」(厚生労働省資料)
- ・上田保健所管内の新型コロナウイルス感染症の状況と住民の皆様へお願い
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」(厚生労働省資料)

(2) 職場における対策

- 症状がある場合は出勤しないことの徹底。
- 体調がすぐれない人が気兼ねなく休めるルールを定め、実行できる雰囲気づくり。
- 休憩所、更衣室などの“場の切り替わり”や飲食の場など「感染リスクが高まる『5つの場面』」での対策及び注意喚起。

【参考】

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の再徹底について
- ・感染リスクが高まる「5つの場面」(厚生労働省資料)

(3) 日常生活における対策

- 普段会わない人との接触や、食事の場面では、基本的な感染防止策を徹底するなど慎重な行動をお願いします。

- 買い物等は人混みを避け、短時間で済ませる。手指消毒にも留意。

【参考】

- ・信州版「新たな日常のすゝめ」冬 ver.

3 資料等について

資料として添付しました『感染リスクが高まる「5つの場面」』などについて、当所のホームページにも掲載、リンク等を貼ってありますので、どうぞご覧ください。

検索／上田保健福祉事務所

<https://www.pref.nagano.lg.jp/uedaho/index.html>

長野県上田保健福祉事務所(保健所)
副所長 三井一孝 健康づくり支援課長 松本清美
電話 0268-25-7147(直通)
FAX 0268-23-1973
E-mail uedaho-somu@pref.nagano.lg.jp